



認定看護師通信



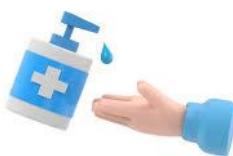
2023年5月発行
Vol. 48

MBP（マキシマル バリア プリコーション）って？

MBPとは、CVCやPICCなどを挿入する際に、術者が、**キップ**、**マスク**、**滅菌ガウン**、**滅菌手袋**を着用し、患者には滅菌された**全身用ドレープ**を使用して、無菌手技で行うことをいいます。もちろん、滅菌手袋を着用する前には手指衛生が必須です。

MBPは、CDC「血管内留置カテーテル関連感染予防のためのガイドライン」の中で強く推奨されている対策になります。当院では、中央材料室から払い出されるセットに、大きなシーツをセットしてもらっています。しかし、残念ながらそのシーツを使用されていない場合があるようです。MBPを実施した場合と小さなドレープを使用した場合とを比較すると、細菌の定着率、敗血症発症率が有意に低いことが報告されています。

もちろん、挿入後の管理も大切ですが、カテーテル関連血流感染を起こさないように、CVCなどを挿入する際にはMBPの実施をよろしくお願ひます。



手指衛生は
忘れずに！



文責：感染管理認定看護師 船原初美

脳梗塞を予防するためには、血液をサラサラにする薬の抗血小板薬・抗凝固薬があります。脳梗塞のタイプによって内服すべき薬は異なり、複数の薬があり、それぞれの特徴や特色が異なり、内服を管理する看護師にとって知っておく必要があります。

| | |
|---------|--|
| バイアスピリン | 最も臨床で使用された古い薬、作用時間が7-10日、拮抗薬なし |
| クロピドグレル | アスピリンよりクロピドグレルが脳卒中予防効果は高い、作用時間が7-10日、拮抗薬なし |
| シロスタゾール | 作用持続時間が48時間と非常に短く調整性が高い、 |
| エフィエント | 作用時間は7-10日 |

| 製品名 | プラザキサ | イグザレルト | エリキュース | リクシアナ | ワーファリン |
|-------------|---------|----------|--------|---------|----------------|
| 薬品名 | ダビガトラン | リバーコキサバン | アピキサバン | エドキサバン | ワルファリン |
| 標的因子 | トロンビン | 第Xa因子 | 第Xa因子 | 第Xa因子 | ビタミンKエポキシド還元酵素 |
| 半減期 | 12~14時間 | 5~13時間 | 8~15時間 | 10~14時間 | 40時間 |
| 最高血中濃度到達時間 | 0.5~2時間 | 0.5~4時間 | 1~4時間 | 1~3時間 | 4~5日 |
| 腎排泄 | 80% | 36% | 27% | 50% | なし |
| 内服回数 | 1日2回 | 1日1回 | 1日2回 | 1日1回 | 1日1回 |
| 採血によるモニタリング | × | × | × | × | ○ |
| 中和薬 | 開発中 | 開発中 | 開発中 | 開発中 | あり |

作用時間が短いと飲み忘れるはどうなる？

文責：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 寺本清美